

農業を学ぶ生徒が幼稚園児に自然体験学習の指導をしました。

6月7日（水曜日）に、農業科3年生（作物専攻）の4名、農業科2年生2名、総合学科メディア・マーケティング系列2年次2名の合計7名の生徒が、鉾田幼稚園の園児17名に自然体験学習の指導をしました。第1回は「サツマイモの苗の植え付け」を行いました。

この取り組みは、農作物の栽培、収穫を通して園児に農業の魅力を伝えるとともに、園児を指導することで生徒が社会性を育むことを目的にして、鉾田第二高校と鉾田幼稚園が連携して10年以上続いています。

園児は、9時30頃にバスで農場に到着して、元気よくあいさつをした後、サツマイモ畑まで歩いて移動しました。畑では、生徒が苗の植え方や注意点について、お手本を見せて、説明しました。

説明の後、園児たちは、高校生から苗を受け取って畑に並びました。そして、高校生が園児を指導して、苗を1本ずついねいに植え付けました。

その後、園児たちは、温室栽培のメロン（イバラキング）の観察、牛の餌やりをしました。

鉾田幼稚園の自然体験学習は、6月28日（水）にメロンの収穫体験、9月6日（水）にサツマイモの生育状況観察、10月18日（水）にサツマイモと果樹の収穫体験を予定しています。

～令和5年度 幼稚園生の第1回自然体験学習のようす～



